

みんなの健康ラジオ

『大人の気管切開』

(2021年7月22日放送)

横浜市耳鼻咽喉科医会

横浜労災病院

塩野 理

気管切開とは？

- 呼吸や嚥下に問題があるとき、のどと肺との途中にバイパスを開けることを気管切開と言う
- 長期間の人工呼吸器管理が必要な場合
- のどの病気で呼吸がしにくい場合
- 嚥下障害のため誤嚥することが多く、吸引が必要な場合
- 気管切開を行うと、空気が声帯を通らないため、声が出ない

大人の気管切開

- 気管切開が必要な理由は生まれつきの病気ではない
- 長期間の人工呼吸器管理が必要な病気
 - 脳梗塞や脳出血、交通事故、肺炎など
 - 人工呼吸器と接続する管は口、のどを通る
- 脳梗塞や脳出血による嚥下障害
- 喉頭癌、咽頭癌など、のどの腫瘍や急性炎症(喉頭蓋炎など)
- 呼吸の筋肉が衰える病気(ALSなど)

気管切開の方法

- 文字通り、気管を切開する
- 気管に到達するまでには、皮膚、皮下脂肪、のどを動かす筋肉、甲状腺などの組織を切り開き、気管に孔をあけて専用のチューブを入れる
- 呼吸や嚥下の問題が解決すれば、声が出せるチューブに交換したり、気管切開そのものを閉鎖することが可能
- 皮膚を大きく切り開かず、小さな切開で行う場合もある
→主に集中治療室で行われる方法

気管切開の在宅管理

- チューブの中が詰まらないようにする
- 気管やのどの粘膜には、バリア機能があり、自然にきれいになるが、気管切開チューブにはそのような機能はない
- チューブを加湿したり吸引したりすることが重要
- チューブの中だけ吸引することが望ましい
→気管粘膜は傷つきやすいため、出血して血痰の原因となる
- 定期的に新しいチューブへ交換
- チューブのサイズや角度、材質が適正かを診察する